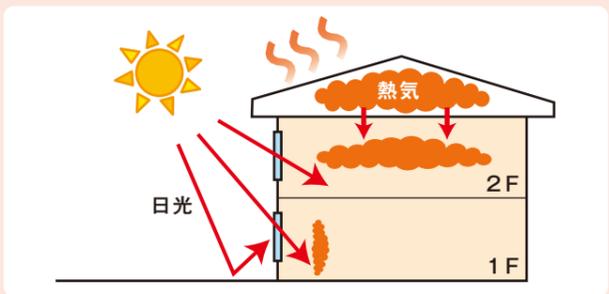




今年も近づきつつある夏の季節。楽しみたいこともたくさん！
お家で思い切りくつろげるよう、暑さを和らげ快適に過ごすための工夫をご紹介します。

家の中が暑くなる原因って？

- 1 窓から日差しが入り込むため
- 2 ベランダからの照り返しがあるため
- 3 暖かい空気が家の上の方に溜まるため
- 4 屋根に溜まった熱が伝わるため



特に熱がこもりやすい二階は暑くなりがち。また外からの影響を受けやすい窓際は対策が必要です。

場所ごとにできる！3つの工夫

1 窓際でできる工夫

■カーテンや簾（すだれ）を付ける

カーテンをすることで日光による熱を遮断し、室内の温度の上昇を抑えます。厚めのものや遮光カーテンが効果的。
簾なら風を通しやすく、見た目にも涼しさを感じられます。



■遮光フィルムを貼る

窓に遮光フィルムや断熱フィルムを貼ることで、窓とカーテンの間に熱がこもりにくくなります。透明のフィルムなら窓からの景色の見え方も損ないません。

2 お庭でできる工夫

■テラス屋根・オーニングを付ける

窓から入る日差しを防ぎます。
また、日よけとなり、ガーデンニングやバーベキューなどが楽しみやすくなります。



■芝生にする

芝生はコンクリートよりも日光の照り返しを防いでくれ、見た目も美しく楽しめます。
天然芝なら四季の変化を楽しめ、人工芝ならお手入れしやすいことがポイント。

3 二階にできる工夫

■シーリングファンを導入する

天井付近の空気を循環させることができ、熱が溜まりにくくなります。また、部屋全体の冷房の効きもよくなります。



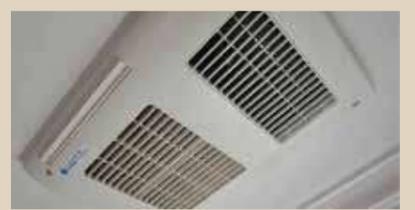
■天井・屋根裏の断熱を行う

屋根からの熱を抑えるために、断熱材や遮熱シートを使用するのが効果的です。
断熱材は、熱の移動を抑制する効果があるため、室内に伝わる熱を抑えられます。



■排熱ファンを付ける

天井にこもった熱は、夜になっても2階が暑くなる原因に。天井の換気口に換気排熱ファンをつければ、二階にこもった熱を取り除くことが可能です。天井裏が高温にならず部屋の暑さを抑えられます。



地域情報

夏休みのおすすめ行楽スポット

長崎市恐竜博物館 ～長崎のもぎき恐竜パーク～

昨年10月にオープンした長崎市恐竜博物館は福井、熊本に続き国内3か所目となる恐竜専門の博物館です。

常設展示だけでも、迫力の巨大な骨格レプリカや直接触れる本物の化石、最新技術の動いて吠えるティラノロケットなど大人も子どもも心惹かれる魅力満載です。3歳未満の幼児や60歳以上の方は常設展無料。入館には事前予約が必要です。

恐竜にちなんだ遊具のこども広場や、美しい海と間近に見える軍艦島、季節には一面の水仙の花で賑わいます。

野母崎方面への道路もきれいに整備されて、東長崎から1時間と少しの海と島を望むドライブコースを楽しめます。



Local information 地域のお店を紹介

しっとり楽しむ 隠れ家レストラン
No.09
イタリアンカフェレストラン アトリエパティオ

〒851-0116 長崎市東町2428
TEL095-837-1935
定休日 土曜日
営業時間
12:00～15:00(バスタコースのみ)
18:00～21:00
(バスタコース、ディナーコース※要予約)
駐車場 あり



緑に覆われた外観、古民家を改装した温かみのある内装とアンティークな調度品の数々。流れる音楽や照明までしっとりと落ち着いた大人の雰囲気、まさに隠れ家レストランです。
季節の食材を使った月替りのパスタをはじめ、目にも舌にも美味しいお料理をゆったりとした贅沢な雰囲気とともにコースで楽しむことができます。

人気のお店なので事前の予約をおすすめします。



自然災害時の備え

代表取締役 山下 龍太郎

じめじめした梅雨の時期、皆様いかがお過ごしでしょうか。日本列島ではいつ発生するのか予想が難しい地震に加え、梅雨時から秋にかけては台風ともなう豪雨による停電、家屋の浸水・倒壊、がけ崩れなどが発生しやすい時期となっています。

このようなときに私たちはどのように身を守ればよいのでしょうか。その一つは避難所への早期避難といえるでしょう。避難所は地域ごとに設置されており長崎市全体で266箇所、そして東長崎地区でも24か所、矢上団地周辺では橘地区ふれあいセンター、東公園コミュニティ体育館、橘中学校武道場・体育館などに設置されています。

内閣府は大規模災害時、救援隊が行くまでに3日間程度かかることを想定した食料、水、エネルギー、寝具などの備蓄を推奨しています。

一方エネルギーとして備蓄が難しいのが電気です。停電により一瞬でエアコンなどの電気を使う機器は停止してしまい高温多湿(または低温)の中での生活が余儀なくされ、特に高齢者の健康への影響も心配されます。

そこで、停電時の対策として注目されているのが、ガスによる発電とエアコンの稼働が出来る装置(*GHP)です。ガスでエアコンの室外機を動かす、さらにガスで発電した電気で室内機を動かすことで停電時でもエアコンを動かすことができ、合わせてその他の電気機器(照明など)をも動かすことができます。

当社はこのような新しいガスを用いた自然災害対策を可能とする技術の習得に努めご提案を進めることで、社会インフラを支える地域の一企業としての役割を果たしていく考えです。

*GHPはGas Heat Pump(ガスヒートポンプ)の略称です。